

# 内閣委員会

- 内閣委員会（2023/03/09）
  - 不登校対策
- 大臣官房学習基盤審議官



（文科省の現在のこの）対策で増え続ける不登校問題が解決できるというふうに本当に考えていらっしゃるのかどうか

誰一人取り残されない学びを保障するための不登校対策につきまして、年度内に目途にまとめるべく、こども家庭庁の御協力もいただきながら、有識者の知見も伺いながら検討を進めてございます。

安心して学べる学校が、場所になるように、必要なことを順次実施することにいたしまして、そのような施策の充実を図らせてまいりたいと考えておるところでございます



# 不登校支援

---

- ◆ 現在、不登校児童生徒数は24万人、長期欠席を含めると約30万人と過去最高を記録している。不登校児童生徒には、多様な選択肢の確保が必要であるが、全国の不登校特例校は21校、受け入れ児童生徒数は約1800人しかない。
- ◆ 特に高校の不登校特例校は公立は0、私立は4校。進学先は多くが通信制でその先は行先不明。それにも関わらず「不登校児童生徒に対する支援事業」は予算2.6億円にとどまっている
- ◆ 対応するスクールソーシャルワーカーの活動の日数の状況は、年間配置0（配置実績なし）が29.7%、年間9日～1日が24.5%と、年間9日以下の配置で54.2%にのぼる。全国の小学校と中学校で採用されているSSWは約3000人のみ。不登校対策の議論になると、トータル予算だけでなく、スクールソーシャルワーカーの議論になるが、これでは、やっていないに等しい。